

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 覚醒時の徐波生成機序解明による眠気発生原理の理解
2. 研究代表者： 大石 陽（筑波大学 医学医療系 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

H1R 発現神経細胞の分布やアストロサイトが睡眠に関与する可能性の発見などが評価されるが、全体的な計画の遅延と仮説の不明瞭さが課題である。フェーズ 2 では、具体的な仮説を持ち、戦略的に進めることで徐波生成メカニズムの解明に期待する。

以上